

19 東京都公立幼稚園 PTA 連絡協議会

行動計画記載の内容等
<p>人格形成の基礎を培う幼児期から、自他の生き方や個性を認め、差別しない心を育てる教育をめざし、都幼 P として理事会や研修会を通して保護者が男女平等への意識を持ち、生活を見直していくように啓発していく。</p>
<p><b>1 家庭環境の工夫を促す</b></p> <p>幼児期に男女平等の意識の芽生えを培うために家庭環境の工夫を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・親が無意識に使ってしまう「～のくせに」、「～なんだから」という言動や思いこみを見直す</li><li>・男女の偏りが見られる遊びや遊具・友達関係に対して、その枠を取り払う努力をする。</li></ul>
<p><b>2 父親の P T A 参加を促す</b></p> <p>保護者（ P T A ）として、母親・父親の枠を取り払う</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・父親にも気軽に参加できる幼稚園 P T A の行事を考える。</li><li>・父親対象の子育て講座などを通し、子育ては母親だけではないことを意識し、理解できる機会をつくる。</li><li>・母親の苦勞、父親の苦勞を分かち合える対話の場を設ける。</li></ul>
<p><b>3 子育て支援事業と健全な子どもの育成との関連を調べる</b></p> <p>公立幼稚園の預かり延長保育や行政が進めている幼保一元化等の子育て支援が、保護者の男女平等参画や子どもの成長にどれだけ影響があるか調査する。</p>

「男女平等参画のための東京都行動計画 平成 16 年度取組実績」

16 年度の具体的取組内容	実 績
<p>理事会、研修会をとおして、人権尊重の精神に基づく P T A 活動の推進と啓発をはかっていく。</p>	<p>役員会や理事会において、PTA 活動の抱える問題をディスカッションする時間を多く取るようにしてきた。</p>
<p>研修会をとおして、幼児期の遊びを通しての学びの大切さと人として成長発達していくための環境作りをしていくことの大切さを啓発していくとともに、そのような場である公立幼稚園の教育や良さをとおいにアピールしていく。</p>	<p>人間として成長発達してゆく為の環境の在り方を「自然との共生」「障害を持つ方との共生」という二つの観点から見つめ直してきた。 二回の研修会で親としての視野を広げる事が出来たのではないだろうか。</p>
<p>P T A の活動報告や実践交流など、父親の子育て参加を促す活動についての情報交換を行っていく。 父親が中心になって行う、「親子遊びの会」やシンポジウムを企画し、子育てについて様々な立場から考えるようにする。</p>	<p>子育て研修会 「お父さん 一緒に子育て 語ろうよ」 を国公立幼稚園長会、都園長会と共催し、 11月7日(日)に実施</p> <p>内容：親子での遊びコーナー 父親の子育て参加についてのシンポジウムを行う</p> <p>成果：父親母親、相互の子育てに関する視点の違いや感覚の違いを認識しあい、理解を促すことができた ：父親の子育て参加の意義の大きさを確認できた ：都内の父親の子育てネットワーク作りのあしがかりが得られた</p>
<p>仕事をしながらの子育てをする保護者、家庭にいて子育てをしている保護者、それぞれの違いや良さ、特徴を生かした、共に助け合い育ち合う子育ての在り方につながる P T A 活動について調査する。</p>	<p>各園において PTA 活動の実態をアンケート調査し、そこから得た情報を各区に提供することができた。</p>
<p>公立幼稚園の預かり延長保育や行政が進めている幼保一元化等の子育て支援と適正配置が保護者の男女平等参画にどれだけ影響があるか協議する。</p>	<p>幼保一元化について、取組みを始める区が多くなり、各区の情報を持ちよりディスカッションする事ができた。</p>